



弓張月春齊榮

西馬譯

若林堂壽梓

題曲五國五

國輝画

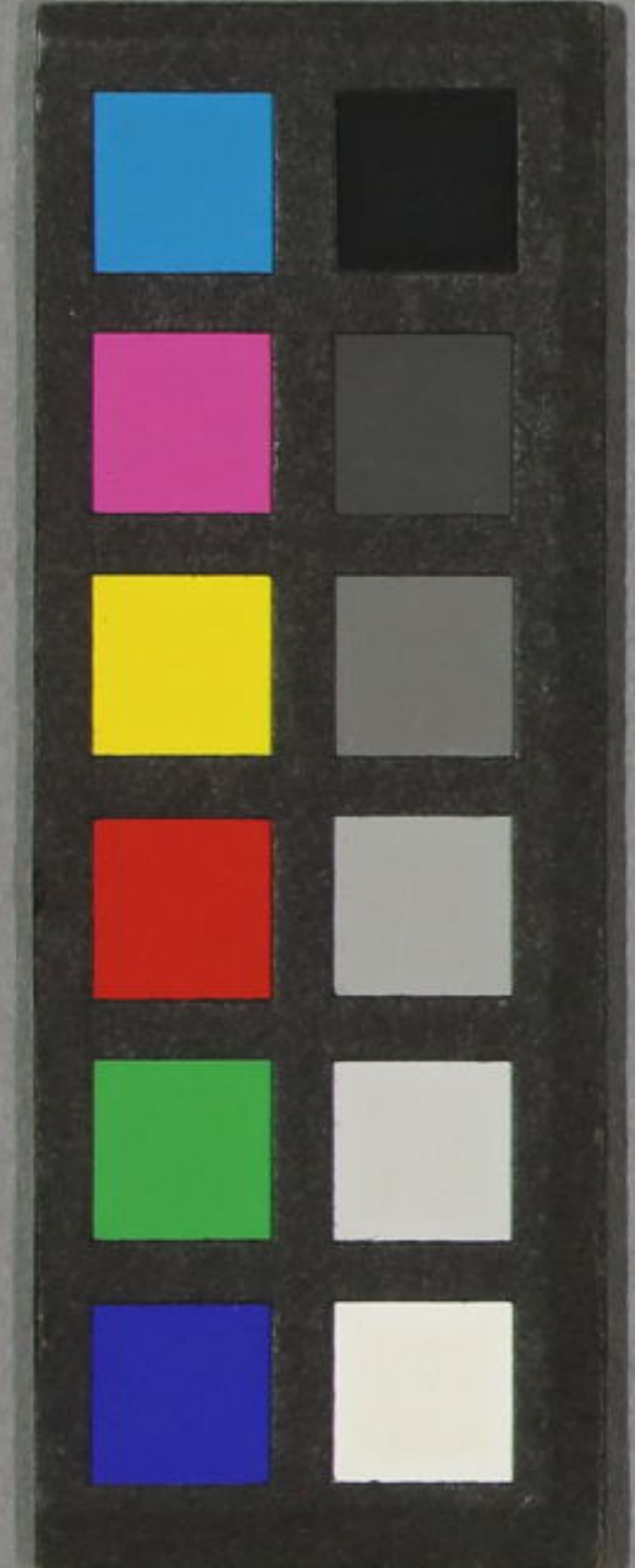
初編下

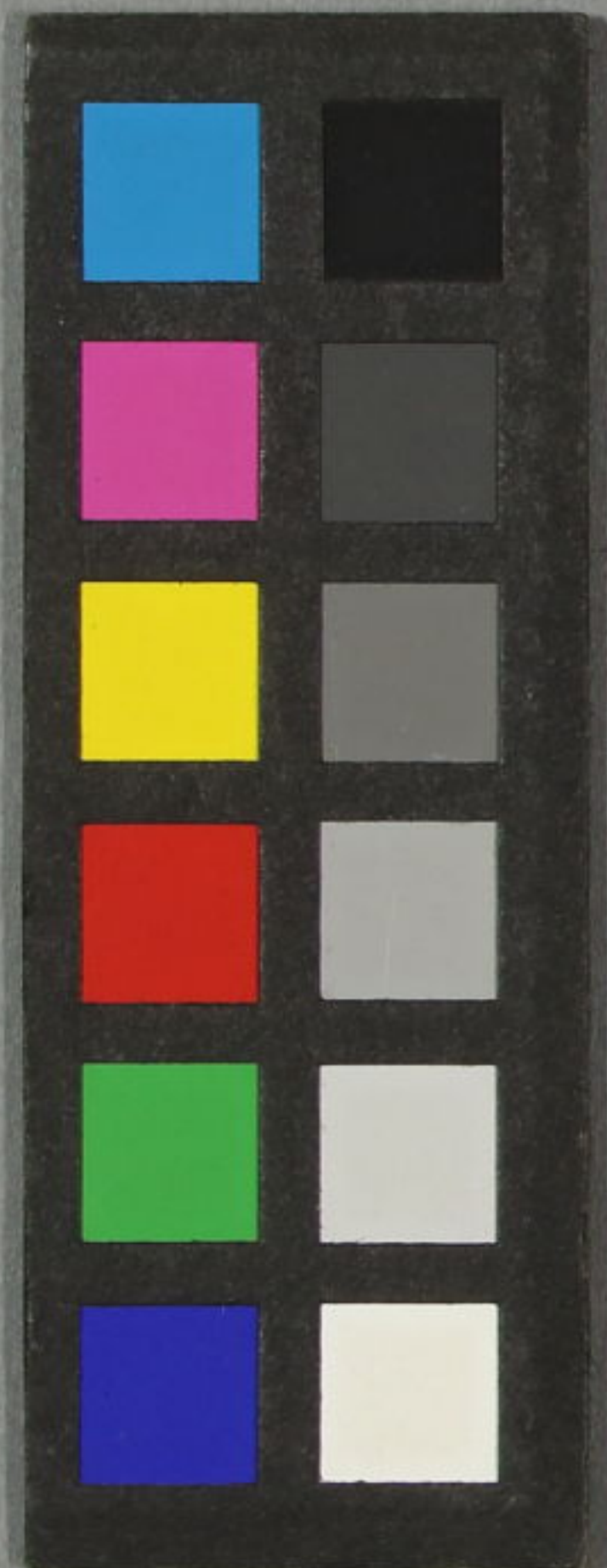
^13
3693
2

Gokan: (111)
Yumihari Zuki
10 books,
(Part 1)

^13
3693
1

上編初





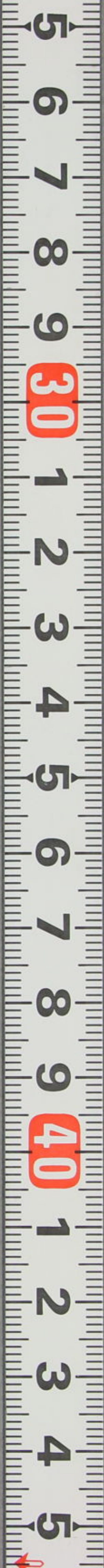
西馬譯

岩林堂壽梓

Gokan: (111)
Yumihari Zuki
10 books,
(Part 1)

^ 13
3693
1

上編初



門へ13
3693



若林堂持
和編上冊

弓張月春延霄榮

樂亭西馬譚

一雄樂國輝重

嘉永四年辛亥春

新鐫

弓勢夕譽盡養由基



流行の變化やましく古躰と目せられ松柏の色やまき常て
 ちて桃櫻の時花の艶なる浅黄惟子黒小袖と紺革色の寂る
 古今若山むいづは流行は繪冊子も滑稽首まされと復讐言
 ち中ちあはれ替りあれ小移る軟又當頃の續き物もあるが小子等が
 拙文思考と綴らんと先哲の妙作と模写とと書房は好むに
 爰不非販販する曲亭翁の高案の弓張月と需註ありと八郎荷曹子
 の弓張小紐る島夷あつて華乃ちもあはる磯の及ぶ事と三歳さま
 草摘半にして等閑と旧年より頻ふ矢は催促實小為朝の弓半
 長くとも短きや小物を摺て保笑つれは射るはね夫中や間遠の自場
 みして齟齬といふもあはれ股足らぬ圖との肯むるを己が例のから
 矢とてハツのうりせんと丸毫の穂先の錆と研更光を

嘉永四年辛亥初春新鐫

樂亭西馬誌

弓長刀



河曾
三郎忠国
愛女
白縫姫

大嶋郡司
三郎大夫忠重の
娘竹影江

琉球国
尚寧王中城寧王女

長刀用



久のそね
つとむ
源
氏
の
東の
くさ
ゆら
とら
る

鎮西八郎
源冠者



肥後 押領主
阿曾 忠國 三郎

色あくせ
見わさし
さくおのち
そままるのり
西

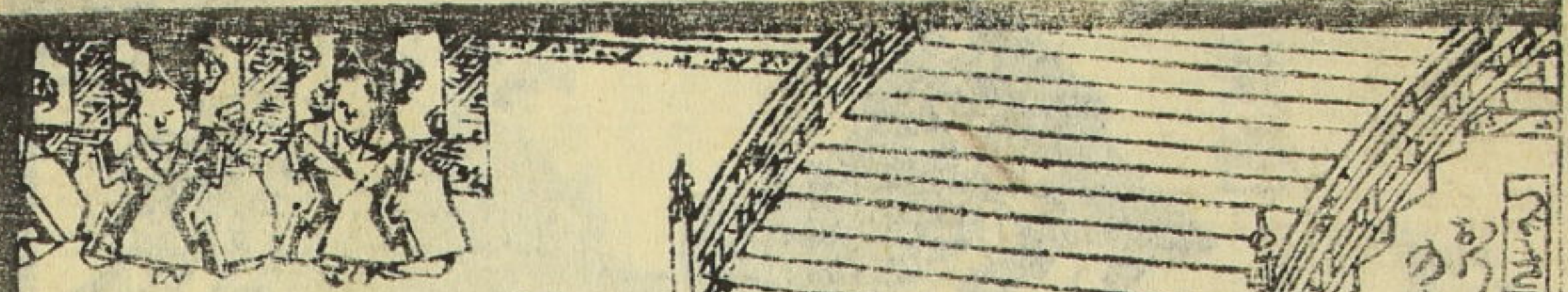
白縫姫
婢女 若葉



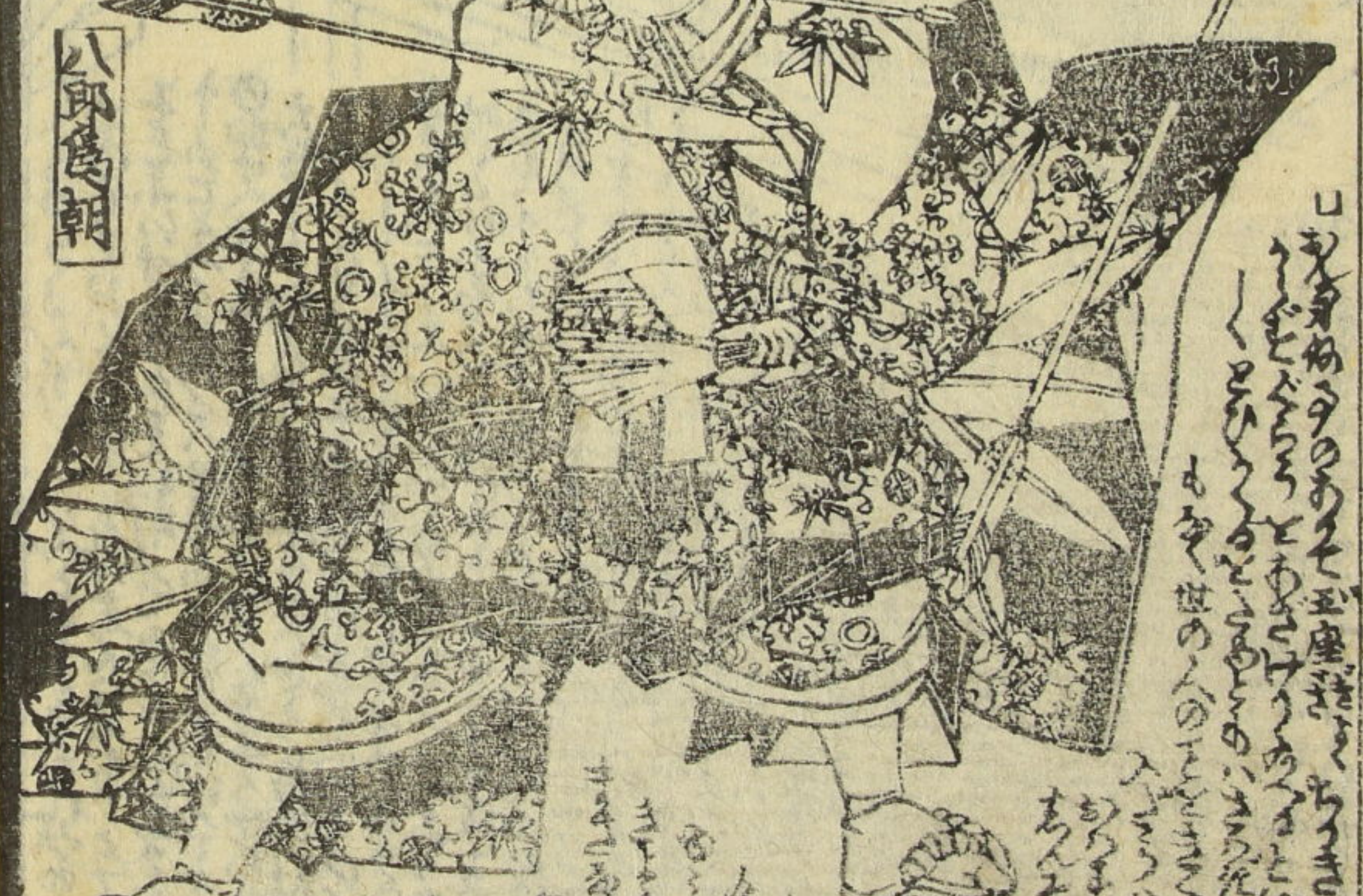
紀平治 代

源氏名の
五たまふりみぢれ
座のゆきらち

飼根野風
紀平治
山飼 雄根



Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a preface or introductory notes.



Vertical columns of handwritten Japanese text below the warrior illustration.

八郎為朝



Vertical columns of handwritten Japanese text on the left page, including a small box labeled '長刀痛'.

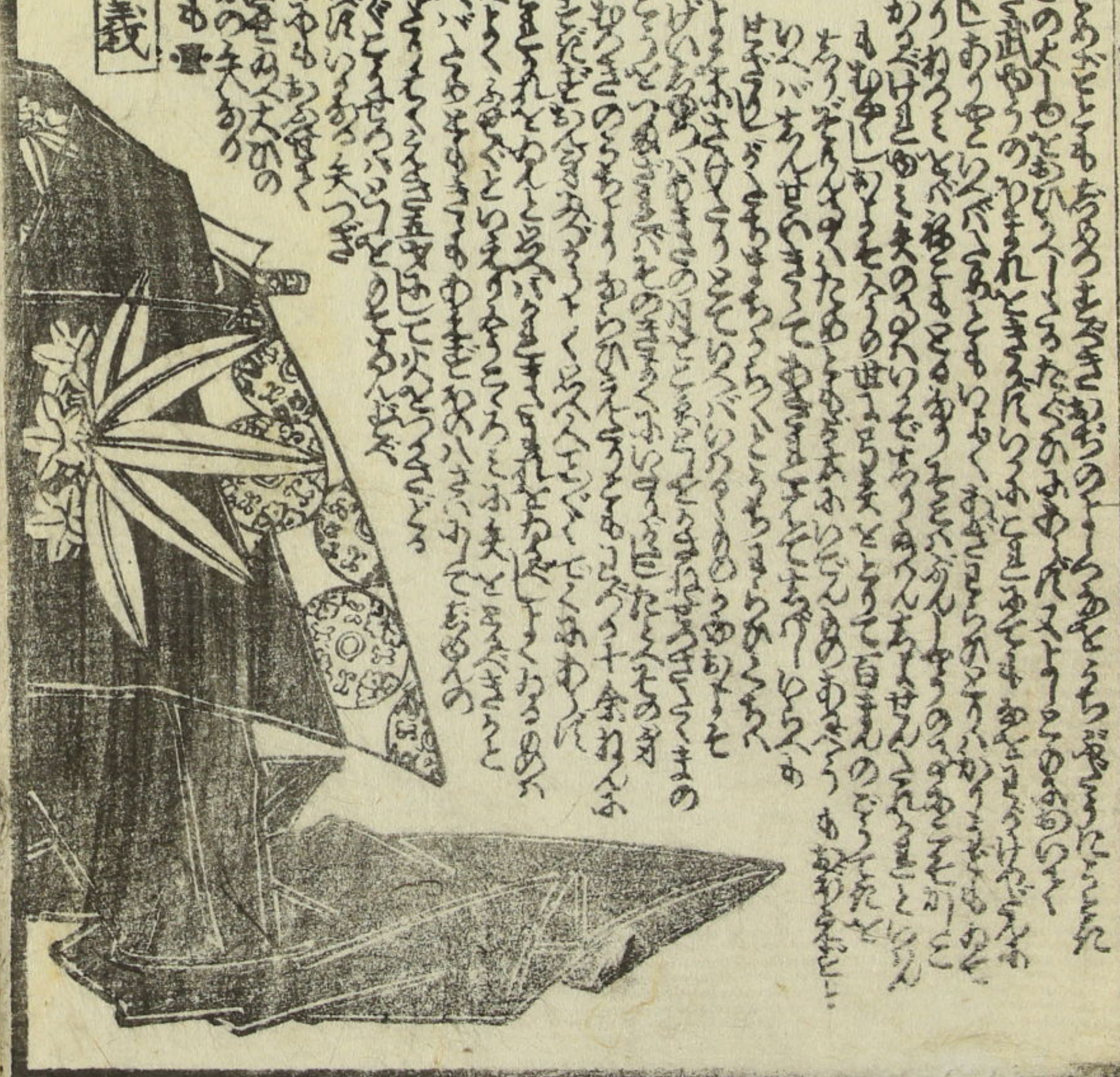
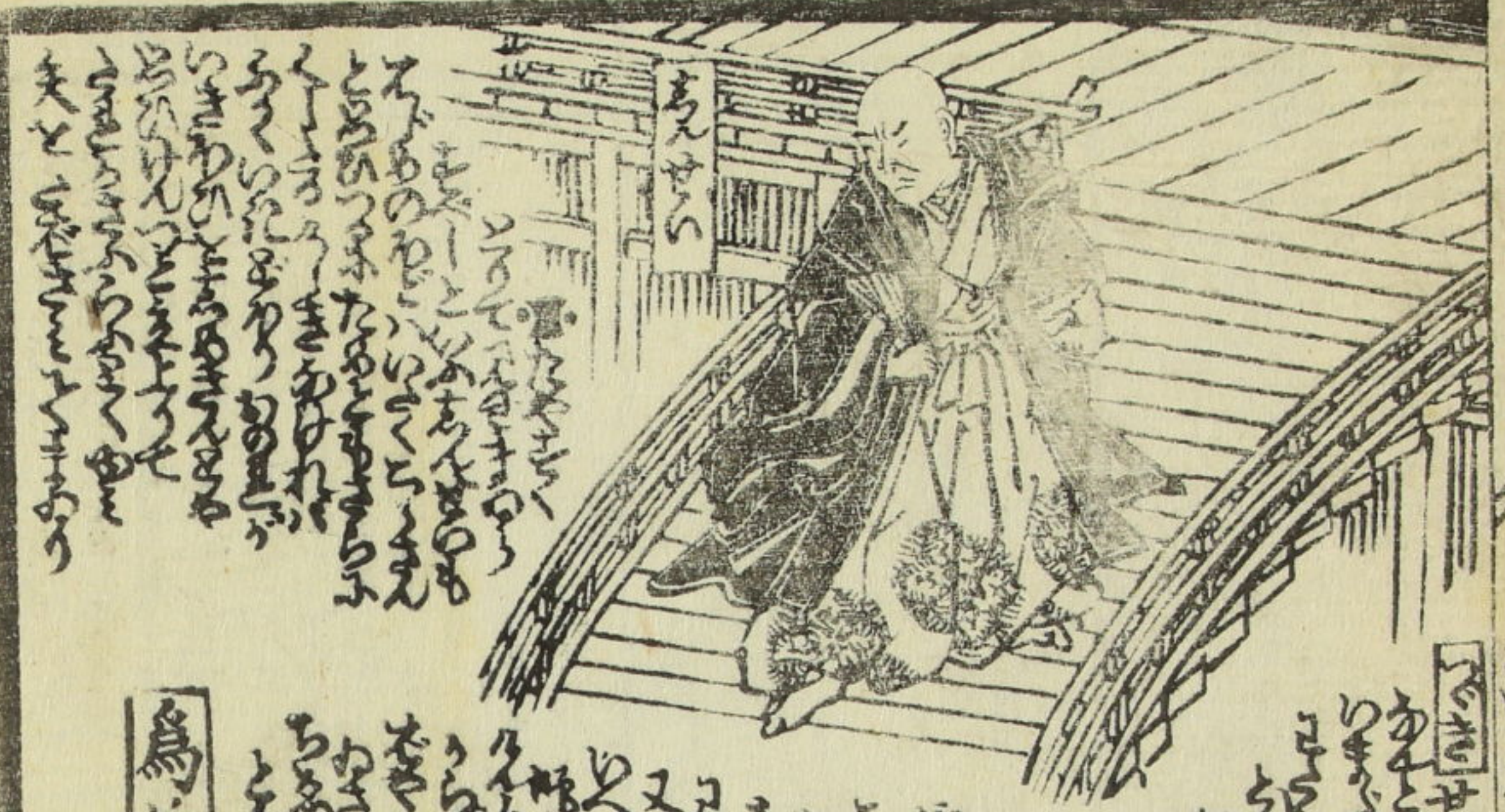
Main body of vertical handwritten Japanese text on the left page, continuing the narrative.

Handwritten text in a cursive script, likely a commentary or a list of items, located at the top of the left page.



鳥朝 (Tori Asa)

Handwritten text at the bottom of the left page, possibly a signature or a date.



鳥義 (Tori Yoshie)

Handwritten text on the left side of the top illustration, likely a title or description.

鳥義 (Tori Yoshie)

鳥朝 (Tori Asa)

鳥朝 (Tori Asa)



錦昇堂新鐫史市目錄

弓張月春廻霄榮

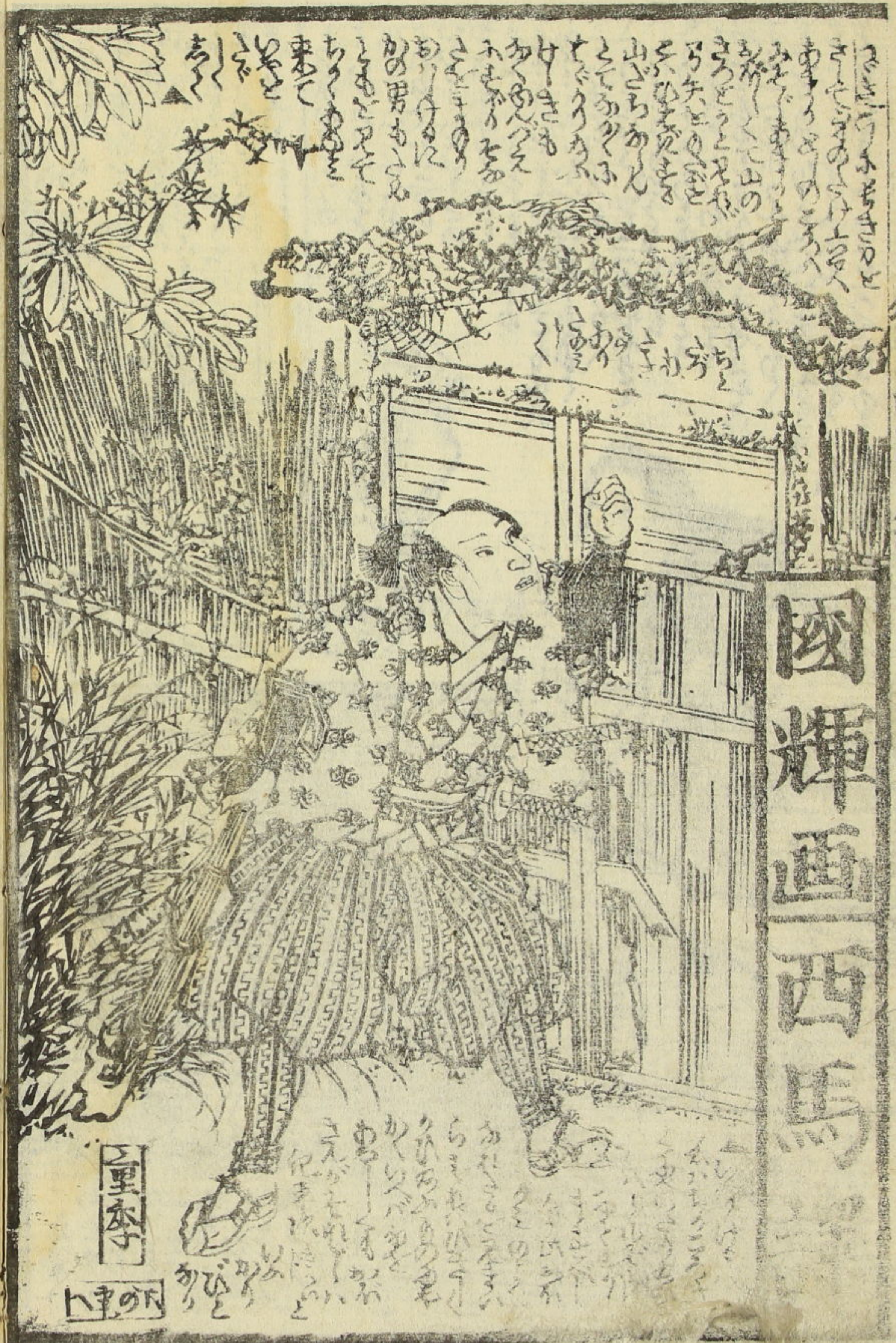
樂亭西馬演譯
雄齋國輝畫

當夏秋のまじり八編ありしこと
衰葉翁の撰説弓張月と原本より其文談と省略持画圖の新體と
増馬形と既に三編を發市指當春四五の巻賣出初秋八篇迄出版仕
五十四郡 竹雀千代啼 初編 三編 同案 同画
萬世龜鑑

縁澤瑠璃に世上をそそぎ先代萩の名をとり新の五十四郡乃旗下
井筒外記知倉茂十郎城をいぬ敷多比其勇忠士千辛万苦して
幻君と補佐あると支高尾薄雲の美名道哲の實記等と集り綴る也

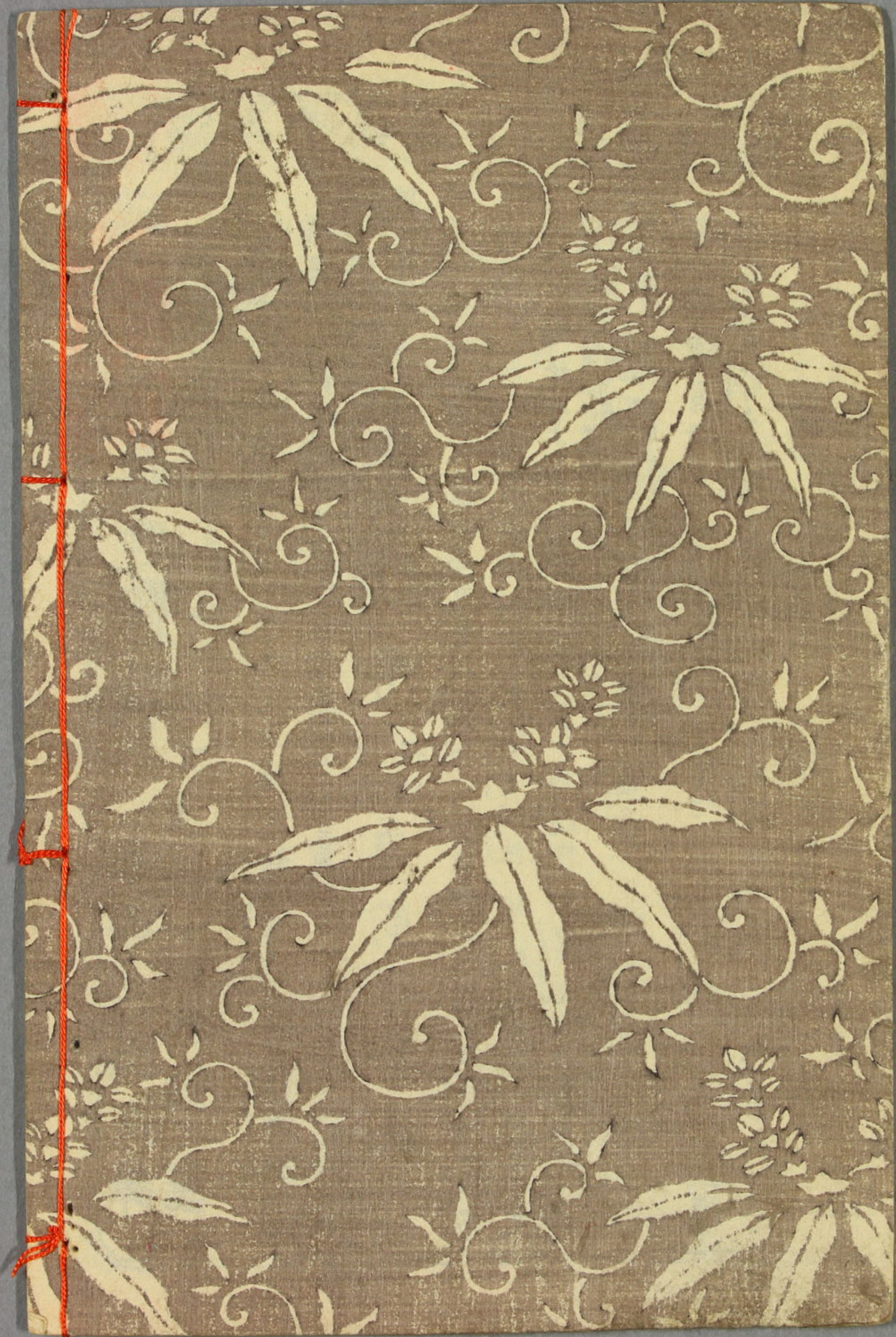
佐野次郎左 成田敏弘托言船稿 初編 三編 同作 同画
和部次郎三

讀切講談よはせん一の巻釣籠の二刀より佐野次郎左主人代の一説に和部次郎が
色欲の出双白丁其切味ととりまゝ人例の曲式振ある因縁物語新案ありと
當中秋より賣出いほなき物より此撰史あり



國輝画西馬

樂亭西馬演譯
雄齋國輝畫





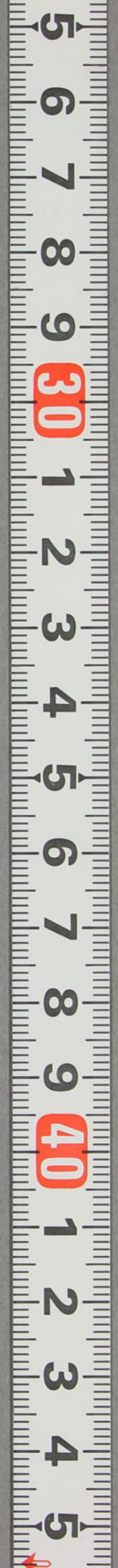
弓張月春齋榮

野田立國五

國輝画

初編下

Λ13
3693
2



弓勢名
 書畫
 才ん太郎
 家

西了詩
 國輝畫
 張月
 春迎
 雷榮
 若好堂板
 幼翁
 下冊



八郎為朝
 田中...

童 李...



Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of a speech or a narrative passage, located in the upper left quadrant of the page.

Handwritten text in a cursive script, located in the middle section of the page, below the snake illustration.

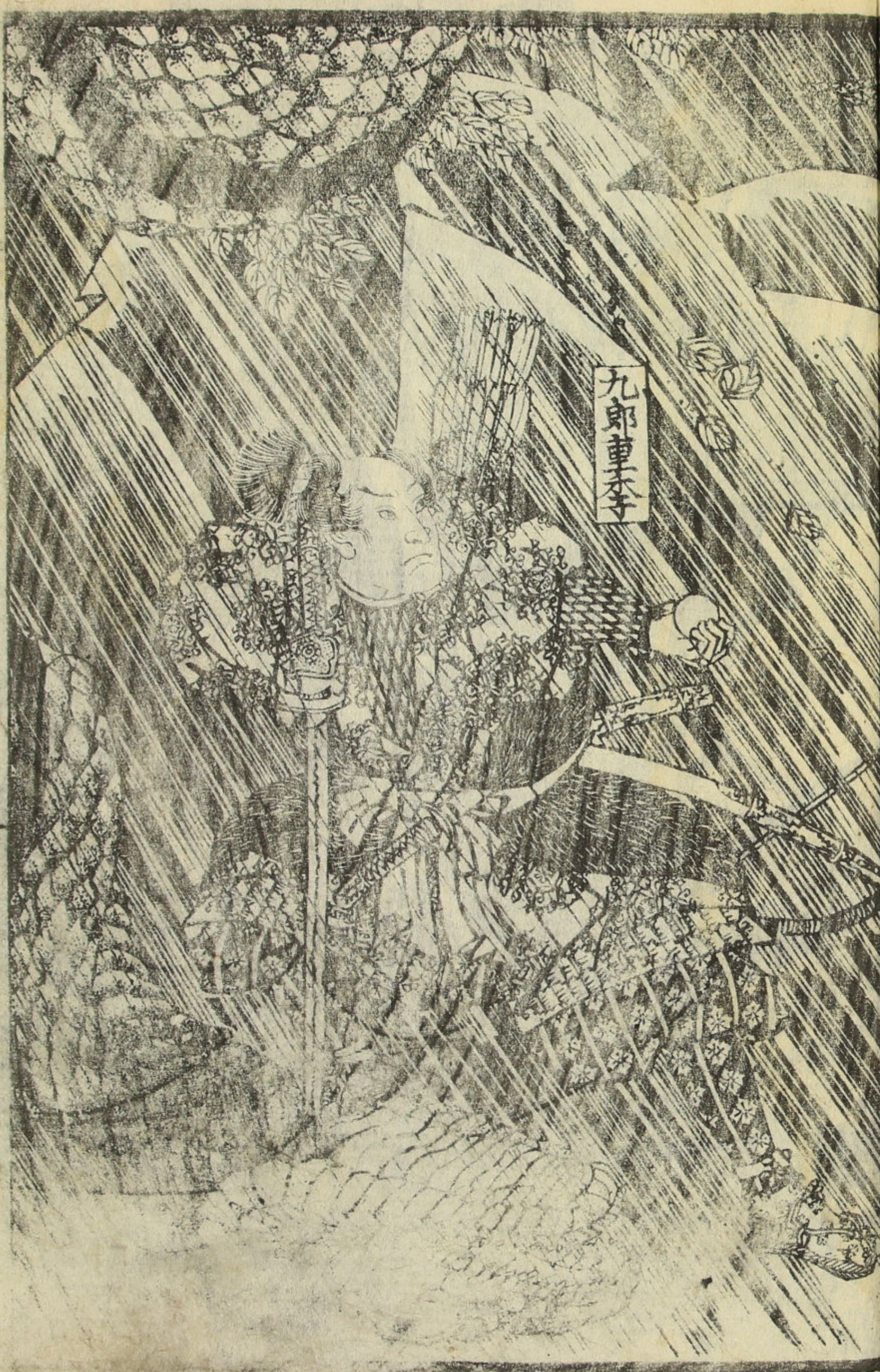
鳥朝



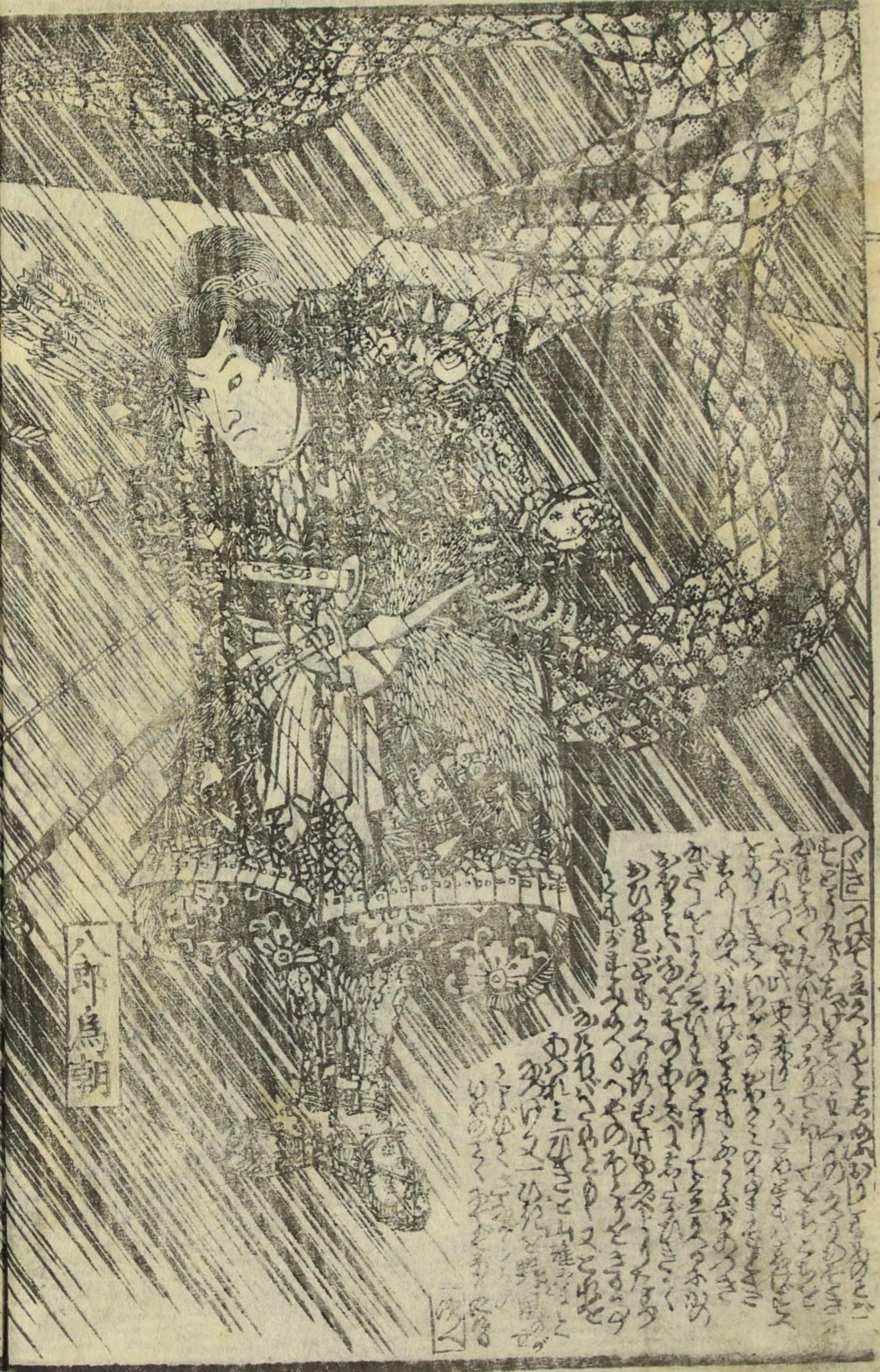
Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of a speech or a narrative passage, located in the upper left quadrant of the page.

里本

Handwritten text in a cursive script, located in the lower right quadrant of the page.

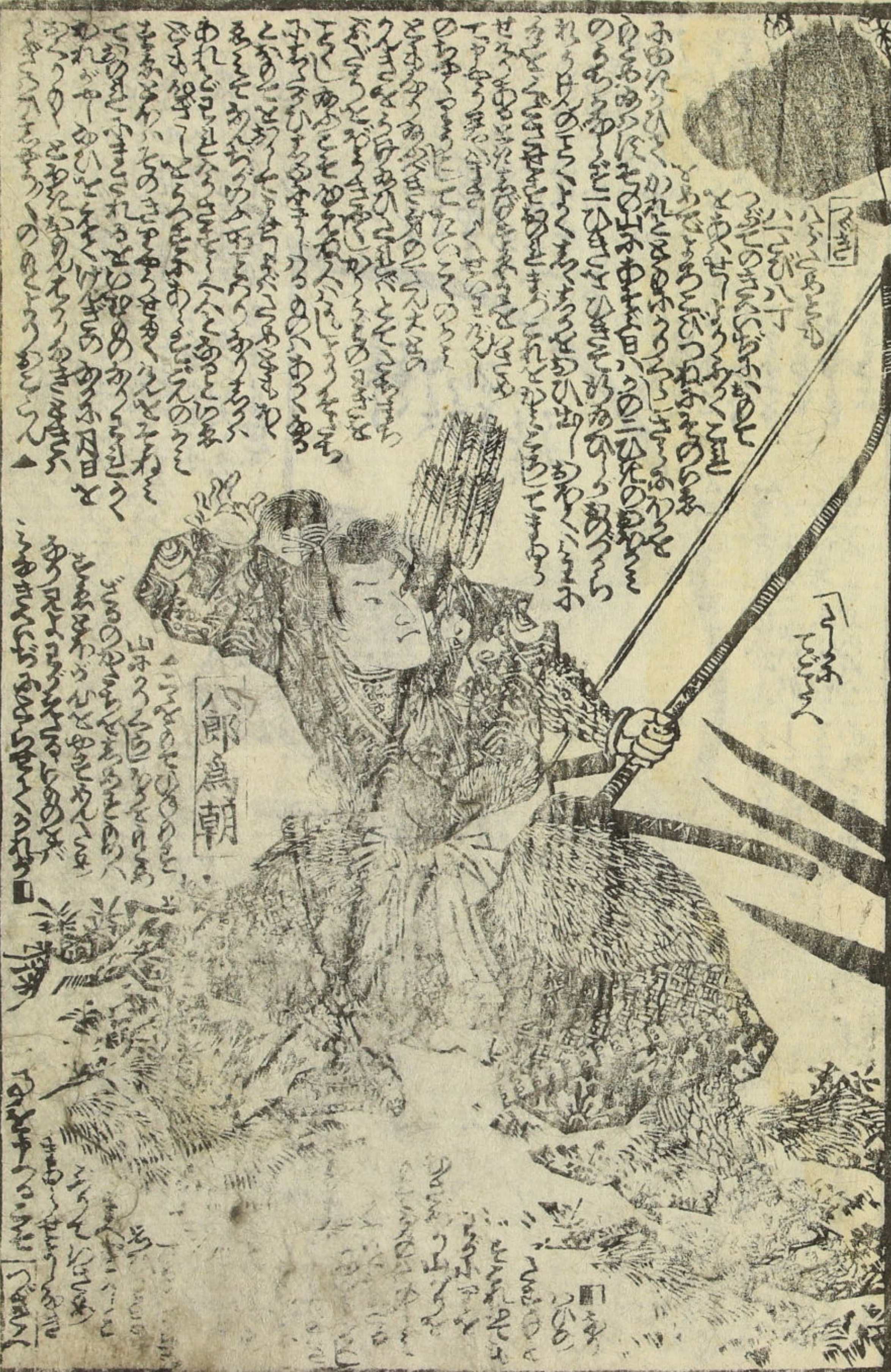


九郎草李



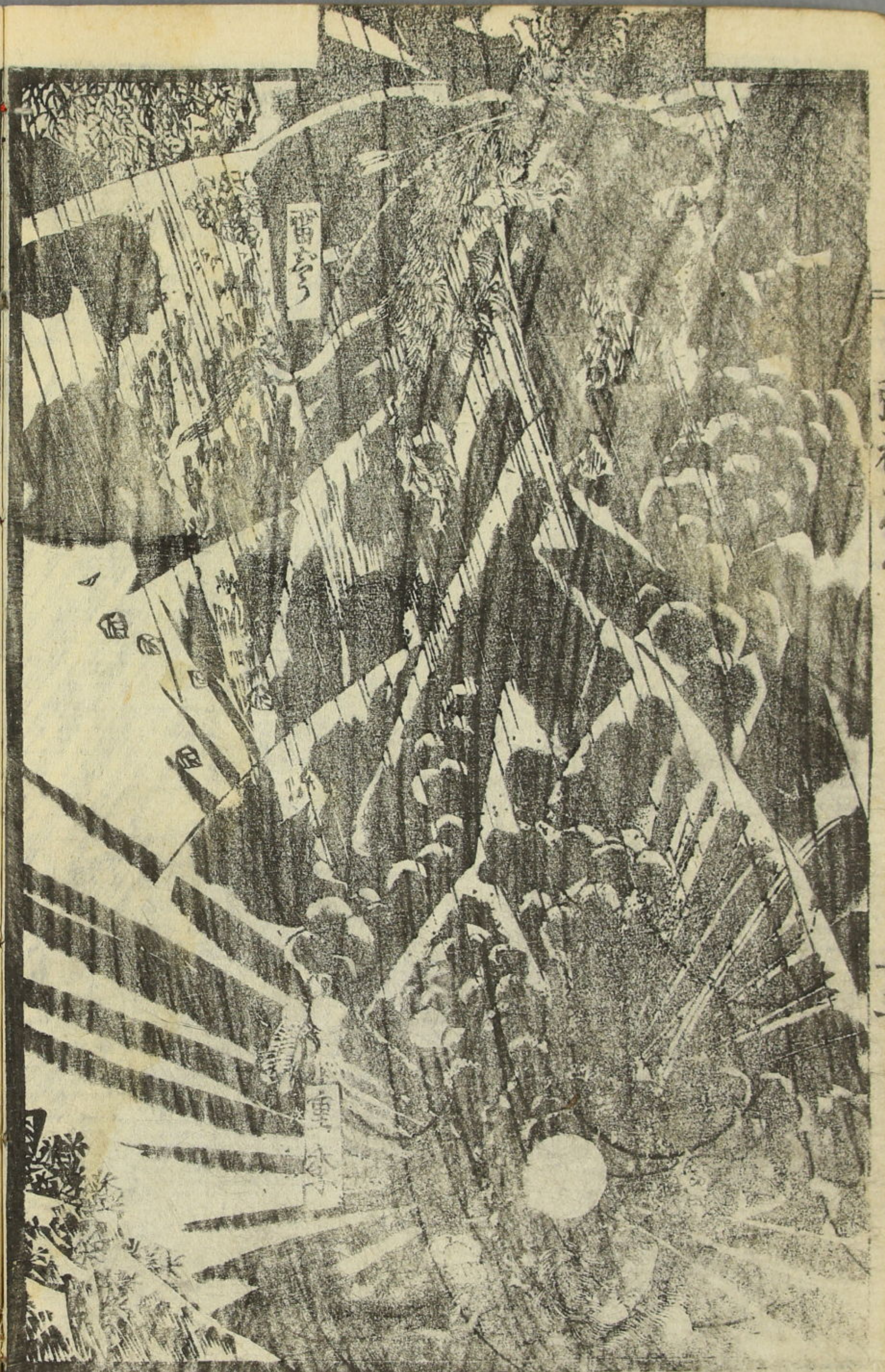
八郎鳥朝

山崎の... 八郎鳥朝... 九郎草李... 弓張社... 弓長刃...



三ノ目

14



三ノ目

Handwritten text in a cursive Japanese style, likely a commentary or poem, surrounding the illustration of the archer. The text is arranged in vertical columns, with some lines crossing the top and bottom of the image.



鳥朝 (Tori Asa)

Handwritten text in a cursive Japanese style, surrounding the illustration of the man in a fur robe. The text is arranged in vertical columns, with some lines crossing the top and bottom of the image.



紹平次 (Shōheiji)

鳥長 (Tori Nagasa)

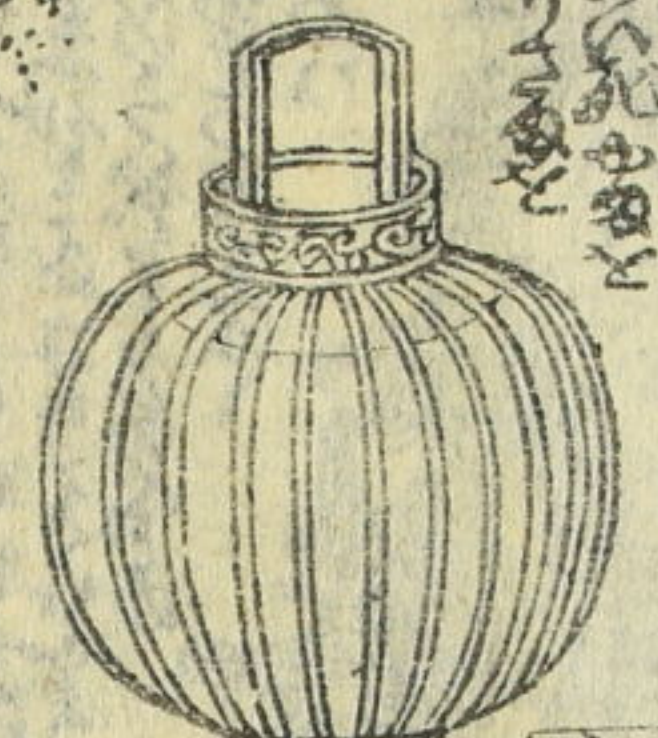
五 (Ichi)

あはれなる御座り
 さればこそ
 こころも
 さびし
 けり
 せし
 こと
 なる
 こと
 なる
 こと
 なる



あはれなる御座り
 さればこそ
 こころも
 さびし
 けり
 せし
 こと
 なる
 こと
 なる
 こと
 なる

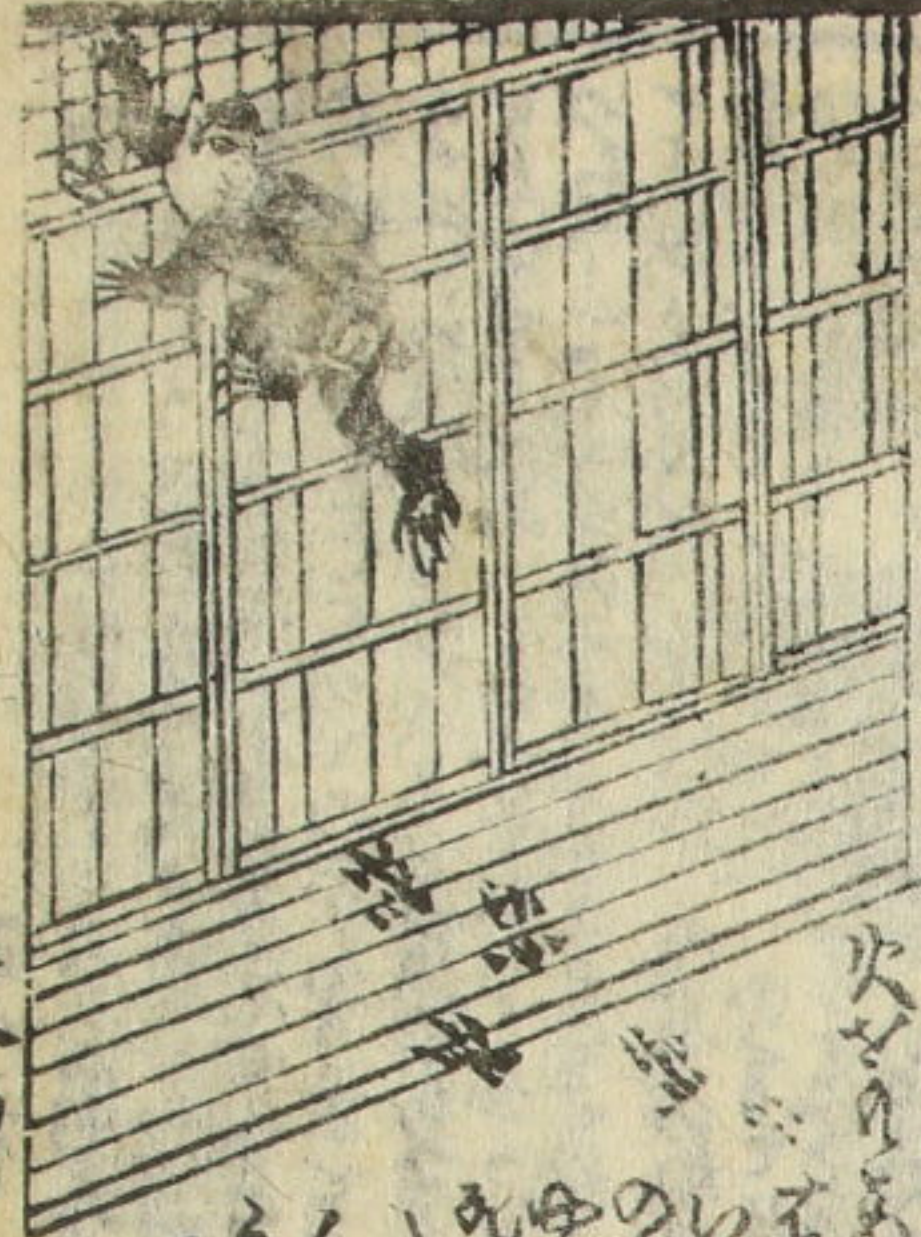
あはれなる御座り
 さればこそ
 こころも
 さびし
 けり
 せし
 こと
 なる
 こと
 なる
 こと
 なる



為朝



あはれなる御座り
 さればこそ
 こころも
 さびし
 けり
 せし
 こと
 なる
 こと
 なる
 こと
 なる

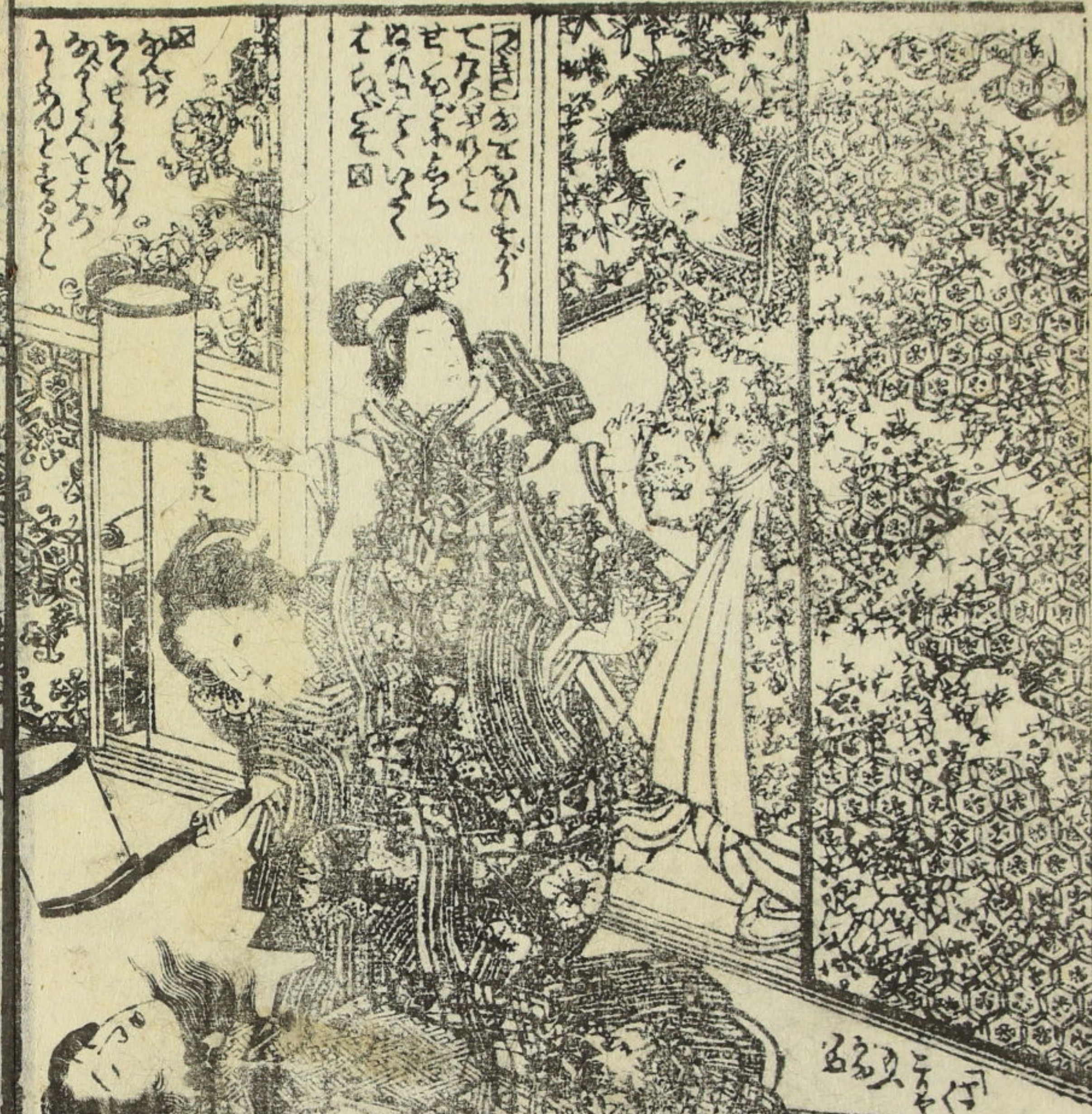


ウツロウ

鳥の鳴き声は、春の訪しを告げる。窓の外は、緑の芽吹く季節。心も軽やかに、未来を待つ。...

あつちのあつちのあつち、あつちのあつちのあつち。あつちのあつちのあつち、あつちのあつちのあつち。...

あつちのあつちのあつち、あつちのあつちのあつち。あつちのあつちのあつち、あつちのあつちのあつち。...



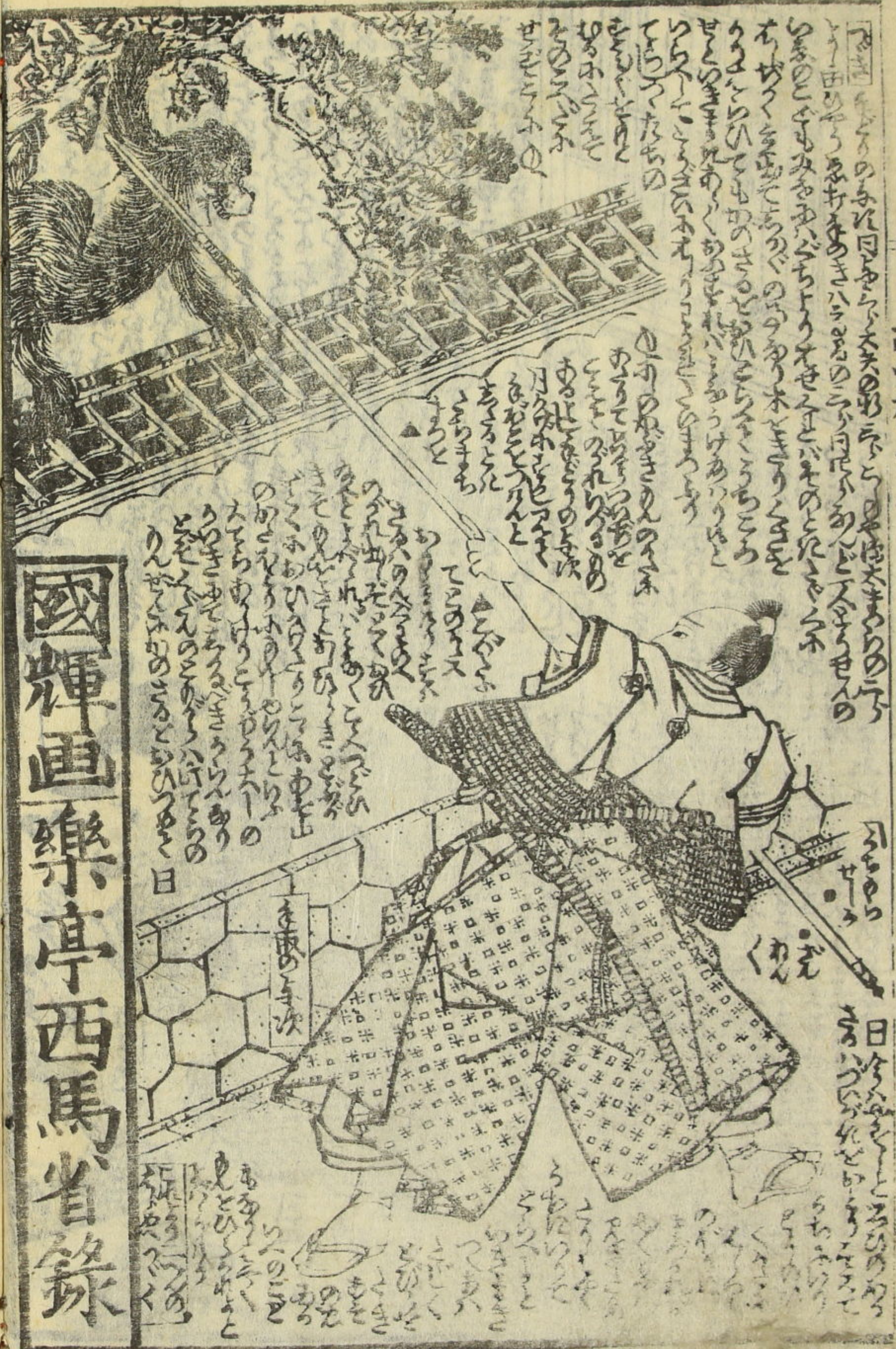
あつちのあつちのあつち、あつちのあつちのあつち。あつちのあつちのあつち、あつちのあつちのあつち。...

あつちのあつちのあつち、あつちのあつちのあつち。あつちのあつちのあつち、あつちのあつちのあつち。...

あつちのあつちのあつち

あつちのあつちのあつち

あつちのあつちのあつち、あつちのあつちのあつち。あつちのあつちのあつち、あつちのあつちのあつち。...



國輝画樂亭西馬省録

夷福庵西馬著述

解題の巻は谷比敷の巻なりと云ふ
無常之感と北越の七不思議八姉井乃中と燒栗の嫉妬肩衣

正本新羅源氏
標本日蓮縁起

菊橘紫雲幕

上摺製本
初編 二編

長房の珠數れ命八身と延る權者の祖師

香蝶樓豊國画圖

行議霰叙太古文

初編 二編
同 一雄齋國輝 作

捕兵部之助正幸俊小守治常悅と名の古今の英傑並鞠ヶ瀬船
文とあつて一個の勇士集會して室町御所とくまんと美兵と鼓と長物等也

地本錦繪草紙卸

錦昇堂

惠比壽屋庄七初

